

2021年度 鉄道技術検定（保線）の実施について

2021年度の鉄道技術検定（保線）を下記により実施する。

なお、受検申請方法等の詳細については同年8月1日に受検案内を弊協会ホームページに掲載する。

記

1. 目的

保線の業務における知識・技術を客観的に証明することにより、鉄道技術の向上を図ることを目的とする。

2. 検定日

2021年11月7日(日)

3. 受検地

(1) 北海道地区

札幌・帯広・旭川・名寄・室蘭・釧路・北見・函館・青森

(2) 東日本地区

東京・横浜・八王子・大宮・宇都宮・高崎・水戸・千葉・仙台・山形・郡山
盛岡・青森・秋田・新潟・長野

(3) 近畿地区

大阪

4. 受検申請の方法

(1) 受付期間

2021年8月10日(火)～2021年8月31日(火)

(2) 受付方法

鉄道技術検定（保線）のインターネットページにて申請

※インターネットを利用できない場合に限り郵送にて対応する。

問い合わせ先：鉄道技術検定事務局

5. 受検資格

検定区分	実務経歴	
	高校卒等	大学卒等
レールエンジニア（在来線・新幹線）	4年以上	2年以上
レールエキスパート（在来線・新幹線）	10年以上	8年以上

6. 出題範囲

区分	出題形式	主な出題範囲
レール エンジニア (在来線・新幹線)	マークシート方式による、正誤、語群選択式：40問 【すべて共通問題】 ※在来線と新幹線は別の出題とする。	・線路の規格と構造、軌道材料、軌道管理、軌道工事、保線の予算と決算、線路の整備、保線機械、触車事故防止、運転保安、災害と事故等に関する基礎知識 ・軌道管理、軌道工事、作業計画、施工管理、保線機械、運転保安等に関する専門の基礎知識
レール エキスパート (在来線・新幹線)	マークシート方式による、正誤、語群選択式：40問 【すべて共通問題】 ※在来線と新幹線は別の出題とする。	・線路の規格と構造、軌道材料、軌道管理、軌道工事、保線の予算と決算、線路の整備、保線機械、触車事故防止、運転保安、災害と事故等に関する応用知識 ・軌道管理、軌道工事、作業計画、施工管理、保線機械、運転保安等に関する専門の応用知識
	小論文 (1200文字程度)	これまでの経験をもとに問題のとらえ方、分析力、構想力、説得力、知識・教養等について総合的に問う問題

7. 合格基準

概ね7割程度の正解により合格とする。

8. 合格発表

2022年1月下旬の予定

※検定の結果は合否のみ、全ての受検者（欠席者を除く）に通知する。

9. 受検料(消費税込)

(1) レールエンジニア（在来線・新幹線）

1,000円

(2) レールエキスパート（在来線・新幹線）

2,000円

10. 鉄道技術検定事務局

一般社団法人 日本鉄道施設協会

電話（NTT）03-5846-5300（JR）054-3489

電話対応時間 10:00～12:00、13:00～17:00

以上